

## 第 18 回コラボレーション・プラットフォーム 開催レポート

「第 18 回コラボレーション・プラットフォーム」を開催しました。

当日は、多数の方々（132 名）にご参加いただき、大変盛況な会合となりました。多数のご参加、ありがとうございました。

### ◆開催概要◆

日時：2021 年 9 月 7 日（火）14：30～17：15

場所：オンライン開催（Cisco Webex）

主催：経済産業省 / 独立行政法人情報処理推進機構

### ◆開催レポート◆

冒頭、経済産業省 商務情報政策局サイバーセキュリティ課 奥田課長より「第 3 層 TF：サイバー空間における価値創造を支えるデータマネジメントの枠組の策定」の紹介を交えながら開催のご挨拶をいただきました。

#### 1. 講演

##### （1）『フェイクデータが社会に及ぼす影響と対策の現状』

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 経営・IT コンサルティング部

上席主任コンサルタント 中 志津馬 氏

偽情報の定義／表現方法／拡散の仕方、日本での偽情報事例、偽情報の新たな脅威としてのディープフェイク、偽情報による社会的影響そしてその対策方法ほかについて解説いただきました。

##### （2）『フェイクデータの生成と判別に関する最新の技術動向』

国立情報学研究所 情報社会相関研究系 研究主幹・教授 越前 功 氏

フェイクデータの生成手法および判別手法、高度なフェイクデータ生成技術とその対策技術について解説いただいたうえで現実的になってきた脅威とその対策のご説明をいただきました。合わせてディープフェイクの自動検出アプリケーションの社会展開をご紹介いただきました。

##### （3）『脅威インテリジェンスの視点で見るサイバー攻撃と防御における AI 利用事例』

日本電気株式会社 サイバーセキュリティ戦略本部

セキュリティ技術センター マネージャー 角丸 貴洋 氏

AI を悪用したサイバー攻撃事例／AI を活用したサイバー防衛事例および AI を狙ったサイバー脅威としての枠組み(NISTIR8269／MITRE ATT&CK)等の紹介を交えながらサイバーセキュリティ分野における AI 技術の進展による影響をご説明いただきました。

## 2. パネルディスカッション

テーマ：『フェイクデータ(AI技術等)が社会に及ぼしている影響と対策』

<モデレータ> 明治大学 公共政策大学院ガバナンス研究科 教授 湯浅 壘道 氏

<パネリスト>

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 上席主任コンサルタント 中 志津馬 氏

国立情報学研究所 情報社会相関研究系 研究主幹・教授 越前 功 氏

日本電気株式会社 サイバーセキュリティ戦略本部

セキュリティ技術センター マネージャー 角丸 貴洋 氏

上記のパネリストの方々にご登壇いただき、企業が偽情報を正しいものと信じて不適切な意思決定をしてしまう、自社を偽った悪意ある第三者からの情報発信によって顧客や投資家に誤解を生じさせたりする、といったディープフェイクほか AI 技術の不正目的での利用というデジタル社会ならではのリスクの増加が今後懸念されるとの背景の中で、フェイクデータを通して「データの信頼性」について今後企業が考えなければいけないことについて以下のテーマに添って聴講者からの質疑を交えながら意見交換いただきました。

テーマ1：どんな種類の具体的な脅威が、今、そして今後待ち受けているのか？

テーマ2：それらの脅威に対して今、そしてこれからどんな準備をすべきか？

以上